

ご挨拶



公益財団法人 奈良先端科学技術大学院大学支援財団
理事長 辻井 昭雄

奈良先端科学技術大学院大学支援財団は、大学院大学の設置を推進してこられた関西経済界、自治体などからその必要性を提唱され、奈良・京都・大阪の3府県並びに企業90社からの出捐を得て設立し、本年7月18日をもちまして設立25周年を迎えることができました。活動拠点である「高山サイエンスプラザ」の譲与をはじめ、評議員、役員、支援事業選考委員への就任、事務局スタッフの派遣など関係各位からの数多くのご支援とご協力を得ながら、今日に至るまで財団活動を継続してまいりました。改めまして、関係の皆さま方に深く感謝申し上げます。

当財団では、この25年間、奈良先端科学技術大学院大学が持つ特性及び機能を最大限に発揮していただくために、教育研究活動、国際交流活動、学術研究成果の普及活動などに対し、時代に応じた可能なかぎりの支援を行ってまいりました。また、大学院大学の最新の研究成果を紹介する「奈良先端大産学連携フォーラム」や、優れた研究成果の事業化に対する支援など大学院大学と産業界との連携を図るための活動も併せて行ってまいりました。さらに、生駒市高山地区に立地する機関と地域住民との交流の場となる「高山サイエンスタウンフェスティバル」の開催や、小学生向けの科学実験教室、プチコンサートなどを開催し、地域住民との交流活動にも積極的に取り組んでおります。

一方、大学院大学におかれましても、「研究大学強化促進事業」(平成25年度)と「スーパーグローバル大学創成支援事業」(平成26年度)の支援対象機関に採択されるなど、科学技術分野での高い評価を受けられ、わが国有数の教育研究機関としての地位を着実に築いてこられました。また、大学院大学で教育を受けられ研究に打ち込まれた方々が各分野の最先端で活躍されておられることは、大学院大学への支援を使命として諸事業に取り組んでまいりました当財団にとりまして、この上ない喜びであり誇りとするところであります。

昨今、当財団を取り巻く環境は設立当時とは大きく変化し、財団運営も厳しい状況が続いております。このような状況下ではありますが、今後も関係先と連携をとりながら質の高い支援事業を行ってまいりたいと考えております。引き続きなお一層、皆さま方のご支援とご協力をお願い申し上げます。